

<参考>第1回生活社会実験の結果



【生活社会実験の概要】

■期間

- 令和6年5月31日から7月31日まで（2ヶ月）

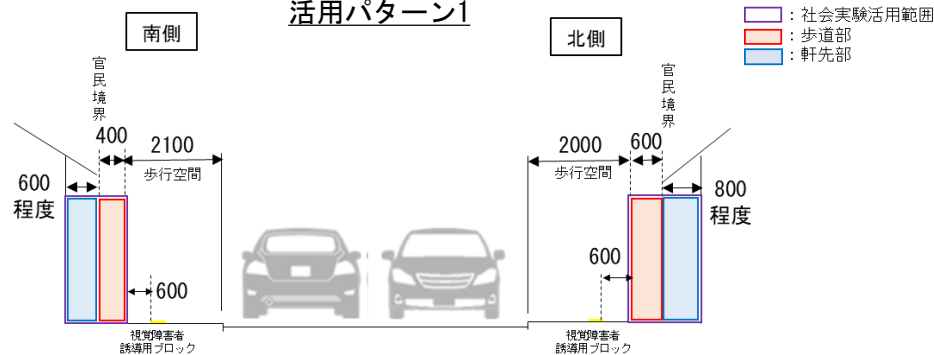
■場所

- 本町1丁目から7丁目の区間

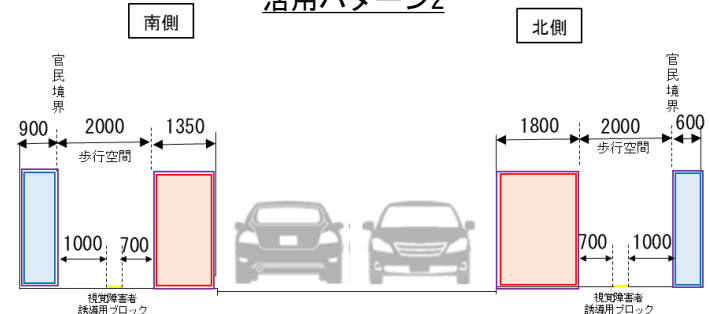
■内容

- 歩道と軒先の利活用を検証する実験
- 公共空間活用に対する意識醸成
- 歩道上の白線の内側が自由に使えるスペースとして確保、ベンチ等の休憩施設を設置

活用パターン1



活用パターン2



<参考> 第1回生活社会実験の結果

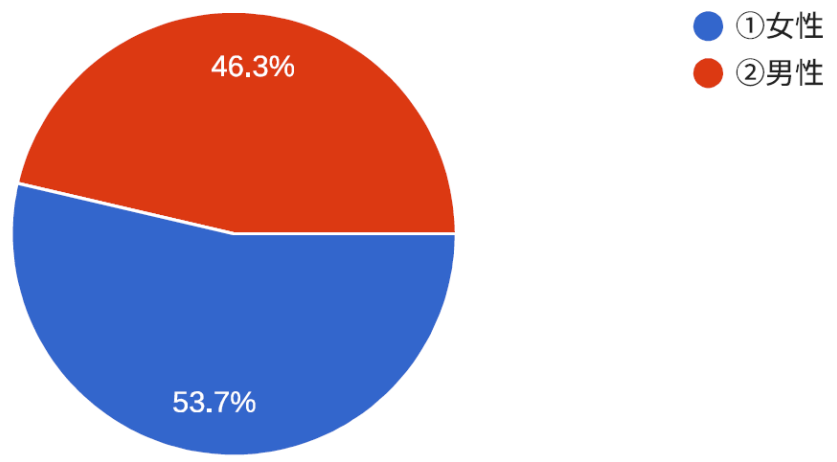


<参考> 第1回生活社会実験の結果

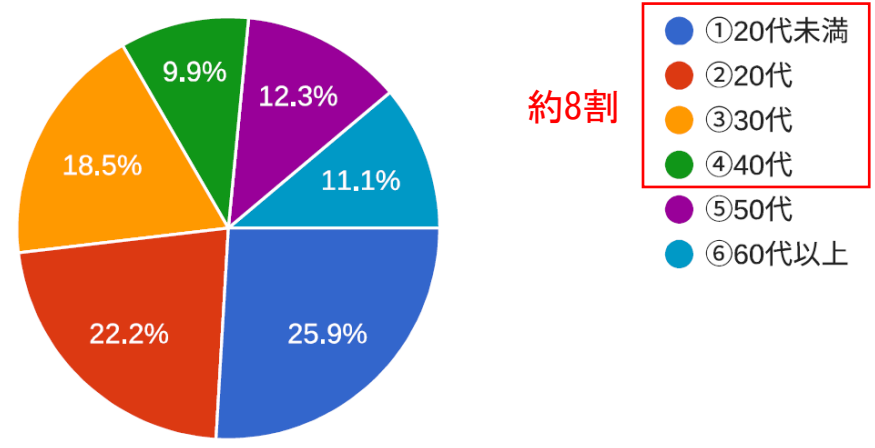


<参考>アンケート結果（歩行者）【回答：82件】

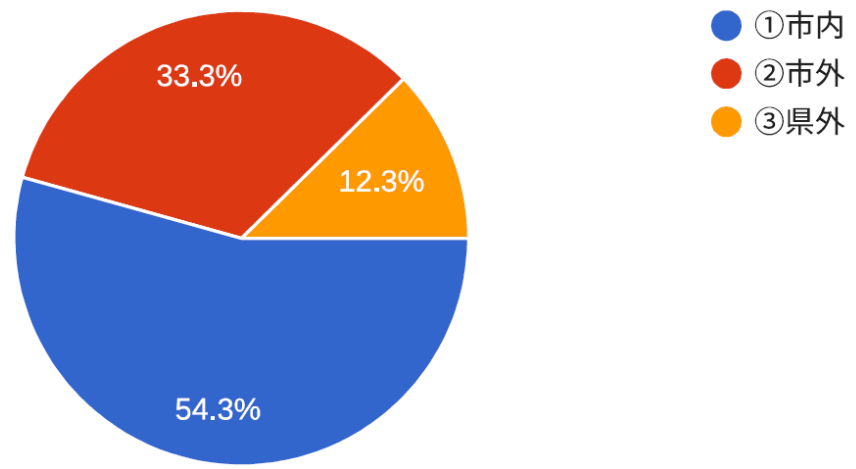
• 自認する性別



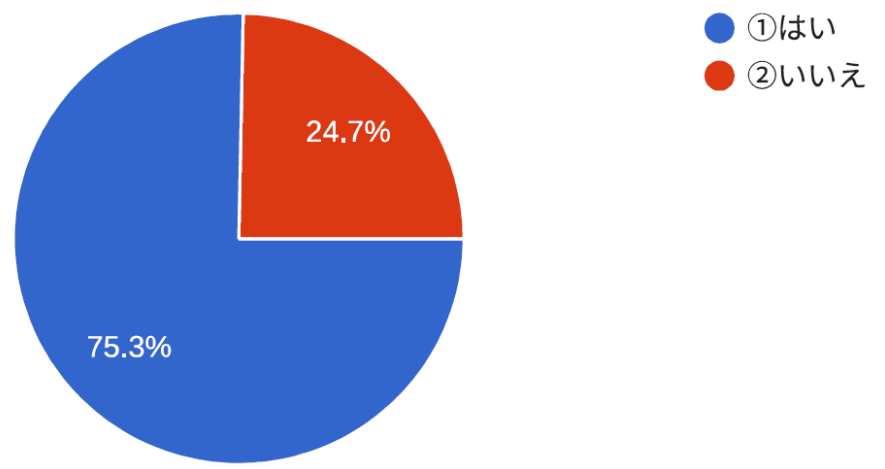
• 年代



• 居住地域

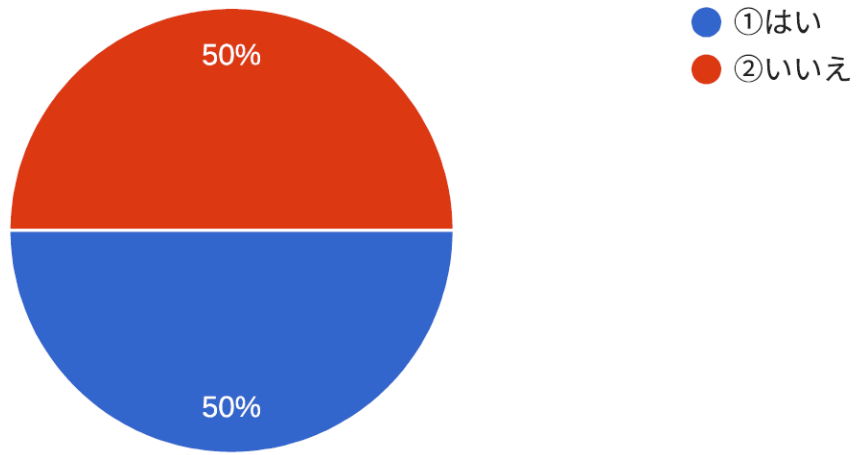


• 沿道店舗への立寄り

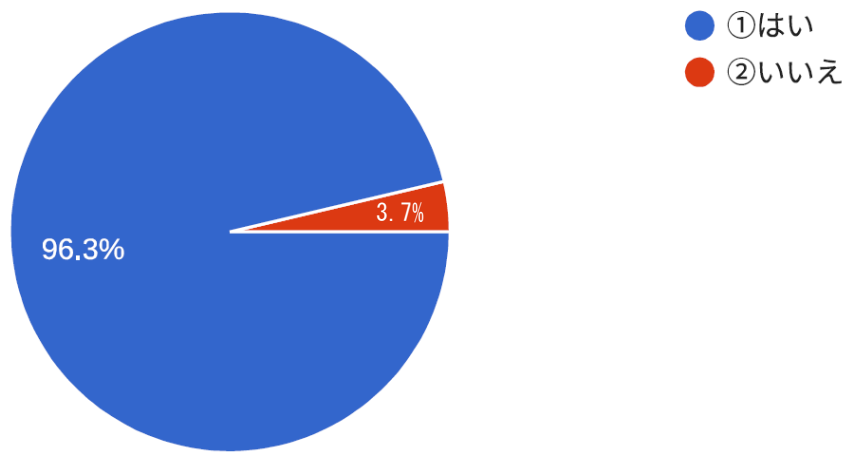


<参考>アンケート結果（歩行者）【回答：82件】

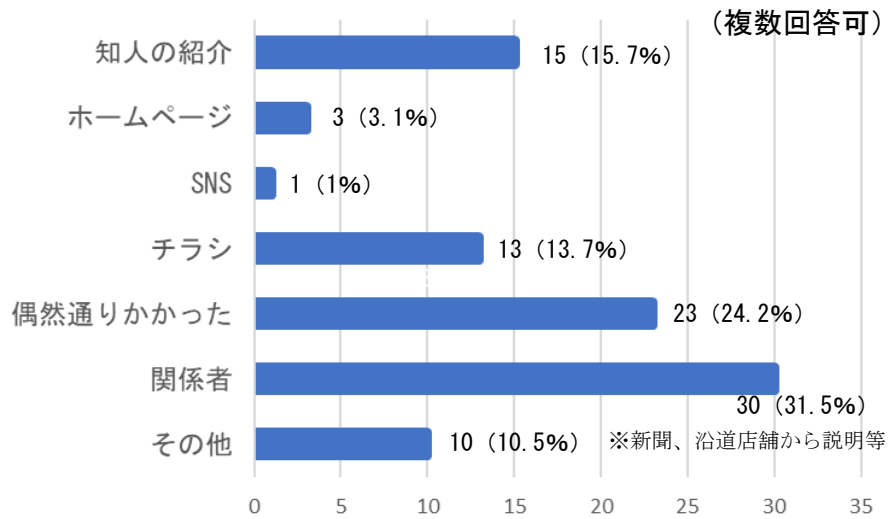
• 社会実験を知っていましたか。



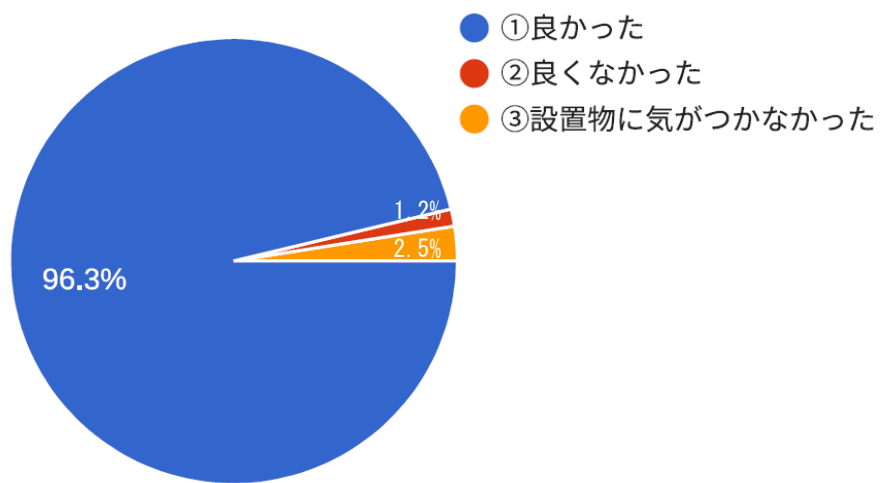
• 設置物があっても安全に通行できますか。



• 社会実験を何から見聞きましたか。

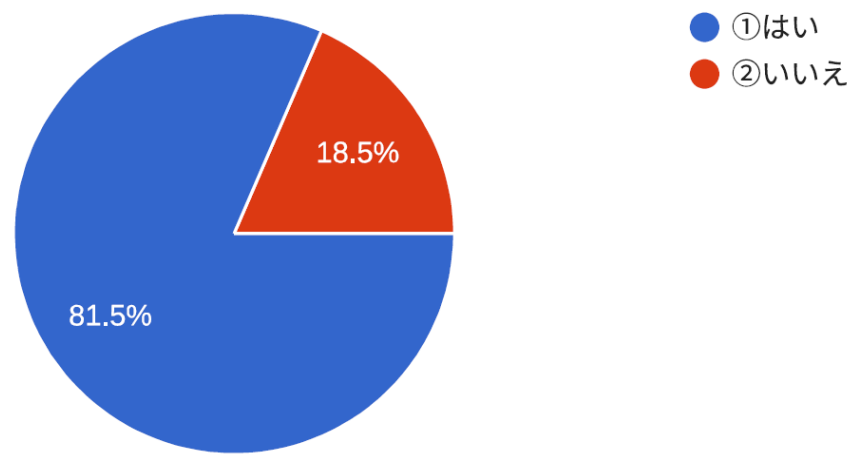


• 歩道への設置物があって良いと思いますか。

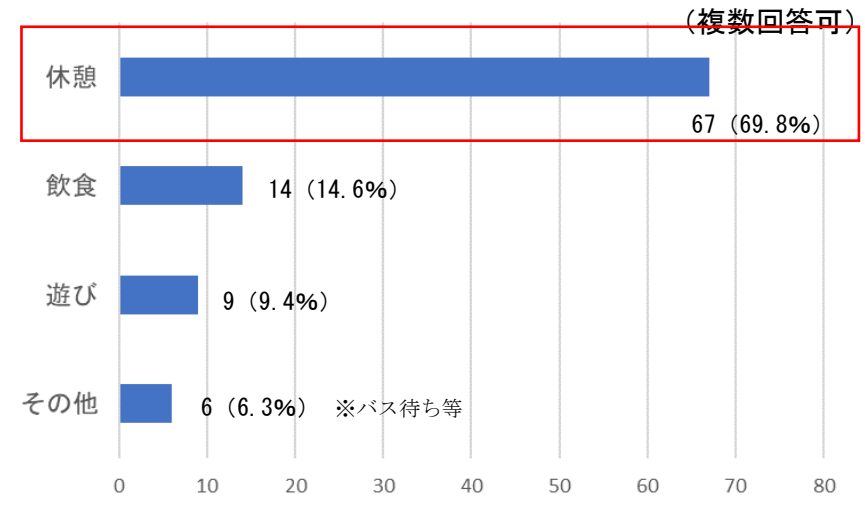


<参考>アンケート結果（歩行者）【回答：82件】

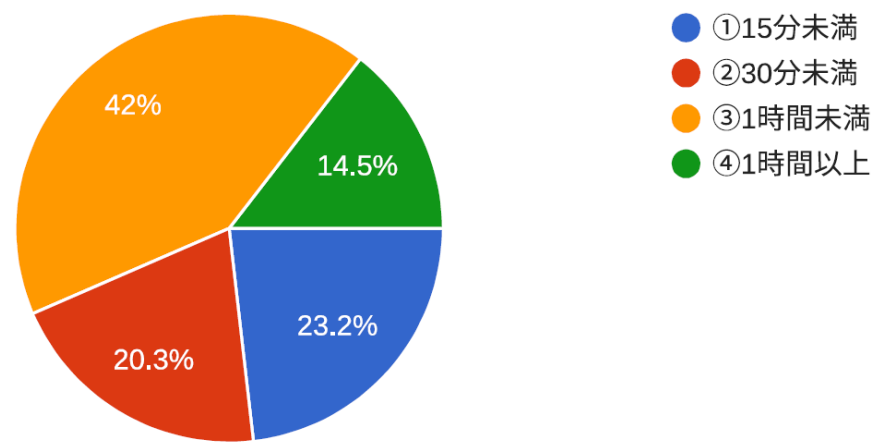
・ 設置物により滞在する契機になりますか。



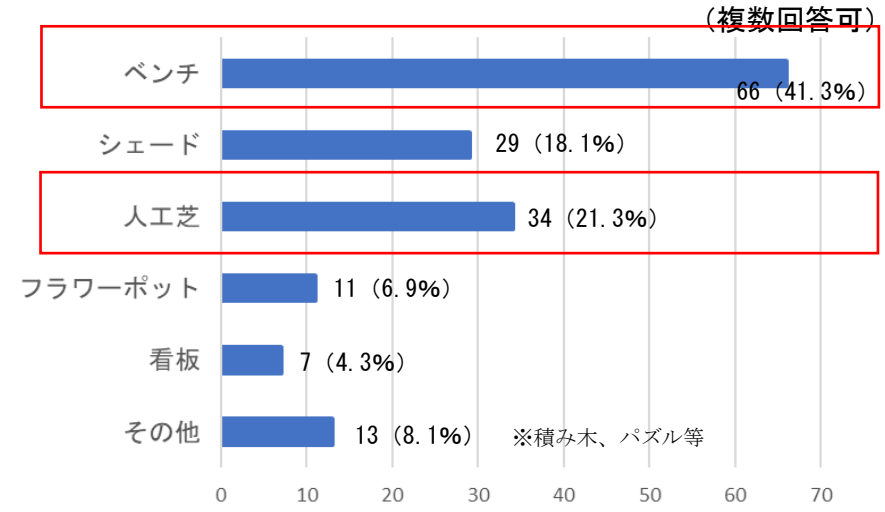
・ 設置物をどんな用途で利用しましたか。



・ 商店街の滞在時間はどのくらいですか。



・ 設置物の中でよいと思ったものは何ですか。



<参考>アンケート結果（歩行者） 【回答：82件】

社会実験に対する主なご意見

○良い点

- ・ 積み木など遊べる場所があって良い
- ・ 目を惹く設置物が多くあった
- ・ 人工芝がいい雰囲気だった
- ・ 屋根付きのベンチが夏でも涼めるのでいいと思った

○課題点

- ・ 人工芝、ベンチを増やして欲しい、日陰が欲しい
- ・ 花などの植物があるとよい
- ・ フラワーポットが雑草まみれだった（維持管理）
- ・ 歩道への乗り入れ車両が気になった

○理想的な活用や取組意向

- ・ 一人暮らしのお年寄りが多いので、井戸端会議の場所として利用できるとよい
- ・ 沿道店舗が積極的に軒先で販売（テイクアウト商品を含む）して欲しい、お店に入るきっかけになると思う
- ・ 安全対策をして、子どもが遊べるスペースが欲しい
- ・ 範囲の拡大、継続的に実施して欲しい
- ・ 誰のために使って欲しいか、ビジョンから考え、ペルソナを一緒に考えたい。